

令和 5 年度

事業計画書

自：令和 5 年 4 月 1 日

至：令和 6 年 3 月 31 日

社会福祉法人青垣福祉会

令和5年度 認定こども園あおがき事業計画

1 基本方針

充実した環境のもと、乳幼児期からのびのびと体を動かし、様々な体験を豊かに積み重ねる教育・保育の実践に努める。また、子どもの人権を尊重しながら、以下の点に重点的に取り組む。

(1) 教育・保育の充実

- ・第2園庭で自然に触れる中で知的好奇心を刺激しながら、自ら考える力を育み、自己肯定感を高められるよう自然体験を積み重ねる。
- ・自然や地域の応援隊の方々との交流を深め青垣を愛する心を育む。
- ・斎藤公子のリズム遊び（リズム運動）に取り組み楽しみながら体軸や感覚を養う。
- ・アプローチプログラムからスタートカリキュラムを活用し、園小連携の充実を図る。
- ・誰もがわかりやすい環境作り（教室環境・人的環境・教育・保育）を進め、ユニバーサルなこども園作りをする。

(2) 職員一人ひとりの意識改革

- ・外部研修・園内研修（不適切保育・ヒヤリハット・子どもの姿の読み取り等）の取り組みを充実し、セルフマネージメントへの意識改革をしながら、チーム力を高めていく。

2 教育・保育目標

- 基本的な生活習慣の定着及び生命の保持・情緒の安定を図る。
- 健康な心と体を育て、安全で健やかな生活に必要な習慣や態度を養う。
- 自ら物事に取り組もうとする意欲や態度を養い、自立心・協同性を培う。
- 身近な人やもの・自然とのかかわりを通して、豊かな感性や表現する力・創造性を育む。

めざすこども

(あ)たたかく (お)だやかな心 (が)まん強く (き)らきら輝く個性

○最後までやりぬく子ども	○話をしっかりと聞ける子ども
○自然を愛し生命を大切にする子ども	○よく遊び自分の思いをのびのびと表現できる子ども
○仲良く遊び思いやりのある子ども	○食べ物に感謝の気持ちを持つ子ども

各組の教育目標

5歳児（そら組）年間目標

- ・保健的で安全な環境のもと一人ひとりの欲求を十分に満たし快適に生活できるようにする。
- ・健康な生活リズムを身につけ、友だちと体を十分に動かし、心地よさや楽しさを味わい進ん

で運動する。

- ・友だちとの関わりを通して社会生活における必要な態度を身につけ、協力したり役割を分担したりしながら、目的を成し遂げる喜びを味わう。
- ・身近な社会事象や自然環境に興味や関心を持って自ら関わり、豊かな心情や探究心・知的好奇心を高める。
- ・生活の中で必要な言葉を身につけ、自分の気持ちを表現するとともに、思いが伝わる喜びや伝え合う心地よさを味わう。
- ・様々な体験を通して豊かな感性を育み、表現することの楽しさを味わい、意欲的、創造的に遊びや行事などに取り組む。

4歳児（にじ組）年間目標

- ・保健的で安全な環境のもと一人ひとりの欲求を十分に満たし快適に生活できるようにする。
- ・喜んでいろいろな活動に取り組み、日常生活に必要な習慣や態度を身につける。
- ・いろいろな遊びに興味をもち、友だちとの関わりを広げながら、遊ぶ楽しさを味わう。
- ・身近な社会や自然の事象に興味や関心をもち、発見したり考えたりしたことを生活に取り入れ楽しむ。
- ・豊かな経験を通して生活に必要な言葉を身につける。
- ・遊びの経験を広げ、自らいろいろな方法で表現する。

3歳児（ほし組）年間目標

- ・保健的で安全な環境のもと、基本的な生活習慣が身につき、安心して園生活を楽しむ。
- ・体を十分に動かして色々な動きのある遊びを楽しみ、心地よさを味わう。
- ・自然に興味・関心をもち、のびのびと遊ぶ。
- ・友だちに親しみをもち、ふれあいながら、安心して自分のしたい遊びに取り組む。
- ・自分の思いや気づいた事、感じた事を言葉で伝え合うことを楽しむ。
- ・自分の興味・関心・思いを自分なりの方法で表現する。

2歳児（うさぎ組）年間目標

- ・保健的で安全な環境のもと、一人ひとりの子どもの欲求を十分に受けとめ、生命の保持と情緒の安定を図る。
- ・のびのびと生活をし、体を十分に動かして遊ぶことを楽しむ。
- ・自然に親しみ、いろいろな物に触れ、のびのびと遊ぶ。
- ・保育教諭の仲立ちにより模倣やごっこ遊びを楽しみながら友だちとの関わりを広げていく。
- ・見たり触れたり、感じたりしたことを言葉で伝えたり、やり取りを楽しむ。
- ・見たて遊びを喜び、友だちと表現する楽しさを味わう。

1歳児（りす組）年間目標

- ・保健的で安全な環境のもと、一人ひとりの子どもの欲求を十分に受けとめ、生命の保持と情緒の安定を図る。
- ・安全で活動しやすい環境の中で、自分なりに行動範囲を広げ、身体を動かすことを楽しむ。

- ・保育教諭に親しみ、感情を素直に表出して機嫌よく遊び、友だちにも関心を示す。
- ・自然物や身近な用具や玩具に興味を持ち、進んで触れたり試したりして遊ぶことを楽しむ。
- ・保育教諭と関わる中で言葉を覚え、要求や自分の気持ちを簡単な言葉で伝えようとする。
- ・見立てやつもり遊びを楽しむ。

0歳児（ひよこ組）年間目標

- ・保健的で安全な環境のもと、生命の保持と情緒の安定を図る。
- ・一人ひとりに合わせて生理的欲求を満たしながら健康的な生活リズムを確立し、快適に過ごせるようにする。
- ・保育教諭の愛情豊かな受容・応答的なかかわりの中で、信頼関係を築く。
- ・個人差に配慮し、離乳の完成や歩行・ことばの発達を促し、周りのものへの興味・関心を育てる。
- ・自然物や身の回りの生活用品や玩具などを見たり、触れたり、聞いたりできるような豊かな環境の中で、感覚や体を動かす遊びを楽しむ。

課題教育・保育

- ・温水プール遊び（4・5歳児）
- ・和太鼓遊び（4・5歳児）
- ・英語遊び（4・5歳児）
- ・自然環境学習（0～5歳児）
- ・体育遊び（0～5歳児）
- ・音楽遊び（0～5歳児）
- ・食育（0～5歳児）
- ・安全教育（災害・交通・生活）
- ・道徳・人権教育
- ・ふるさと教育

評価計画

- ①委員会開催（6月）
- ②保護者アンケート
 - ・園の行事及び参観日のアンケート
 - ・幼稚園部アンケート
- ③年間アンケート集約・考察
- ④園の自己評価作成
- ⑤学校関係者評価委員会（3月）
 - ・委員会意見聴取・評価
- ⑥認定こども園あおがき幼稚園評価作成
- ⑦公表

研修計画

園内研修（全職員）・・・研修計画にもとづく

- ・授業研修（事前、授業、事後）・・・・・・年5回
- ・ドキュメンテーション研修・体験型研修・指導主事派遣研修

園外研修(自園においてのオンライン研修を含む)

- ・キャリアアップ（副主任・専門リーダー・職務分野別リーダー）研修
・・・・・・・・・・・・1分野15時間×4
- ・スキルアップ研修・・・・・・・・・・・・年3回
- ・中堅職員研修・・・・・・・・・・・・年10回
- ・主任研修・・・・・・・・・・・・年5回
- ・丹波市保育協会主催研修・・・・・・・・年2回
- ・特別支援教育研修・・・・・・・・・・・・年5回
- ・幼児期と児童期の学びの接続研修・・・・年3回
- ・丹波市幼児教育研修・・・・・・・・・・・・年3回
- ・丹波市人権同和教育研修・・・・・・・・・・・・年5回
- ・調理師（栄養士）研修・・・・・・・・・・・・年2回
- ・救命救急講習(AED 使用)・・・・・・・・・・・・年1回
- ・防犯研修(防犯用具使用)・・・・・・・・講師招聘
- ・園小連携研修・・・・・・・・・・・・年1回

3 クラス編成

令和5年4月1日現在

クラス名	年齢	保育教諭数	園児数	備 考
ひよこ	0歳	2名	2名	
りす	1歳	3名	15名	
うさぎ	2歳	4名	22名	
ほし	3歳	3名（支1名）	25名	1号認定 2人
にじ	4歳	2名（2名）	25名	1号認定 1人
そら	5歳	3名（支2名）	33名	1号認定 3人
合 計		17名	121名	1号認定 6人

4 月別教育・保育予定日数（かつこ内は、3・4・5歳児の教育日数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合 計
25 (21)	23 (19)	26 (22)	25 (14)	22 (4)	24 (20)	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
25 (22)	24 (20)	23 (18)	22 (17)	23 (20)	25 (14)	(211日)

5 保健・健康

家庭との連携のもと、自分の心やからだに关心が持て、より良い生活習慣とからだづくり、健康づくりに努める子どもを育成するために、重点的に取り組む。

(1) 保健管理

- ①健康観察（心やからだに関する情報の把握）
- ②健康相談活動
- ③健康診断・歯科検診
- ④感染症予防
- ⑤救急処置・救急体制
- ⑥環境衛生

(2) 保健教育

- ①保健指導
- ②保健学習

(3) 医務室運営

(4) 組織活動

- ①園内での連携と研修
- ②家庭・地域社会との連携
- ③学校保健安全委員会

年間保健行事	対象年齢
健康診断（2回／年）	全園児
歯科検診（1回／年）	全園児
歯科衛生指導（1回／年）	5歳児とその保護者
尿検査（1回／年）	4・5歳児
色覚検査（1回／年）	4・5歳児希望児のみ
視力検査（1回／年）	3歳児
（2回／年）	4・5歳児

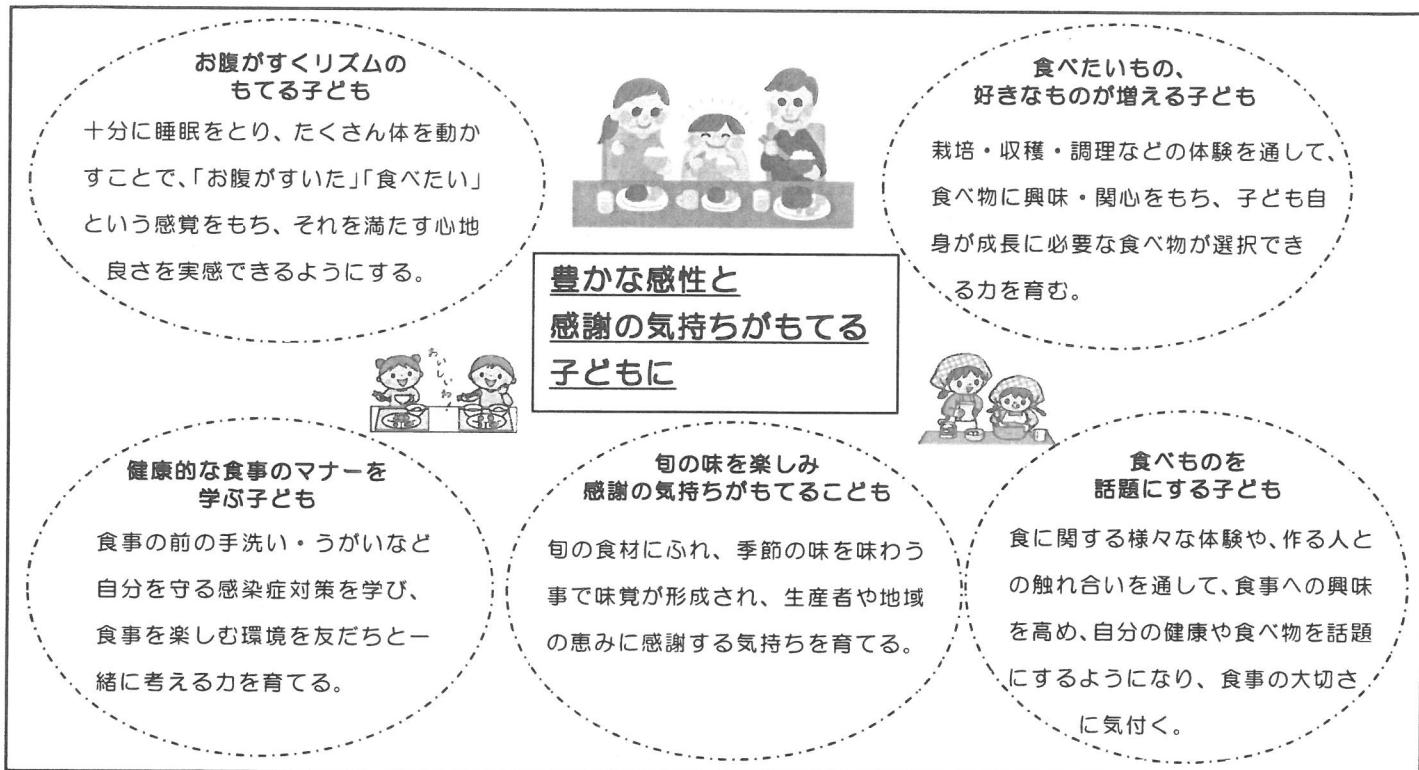
6 主な行事予定

4月	入園式（新入園児のみ）
5月	野菜の苗植え 交通安全教室 家庭訪問（3・4・5歳新入園児）参観日（分散して実施） 給食体験会（5歳児）・・・分散して実施予定
6月	引き渡し訓練 プール開き
7月	七夕夏祭り 個別懇談会（希望者）奉仕作業（5歳児保護者）
9月	野菜の苗植え 運動会（1・2歳児） 奉仕作業（4歳児保護者）
10月	運動会（3・4・5歳児） 祖父母参観日
11月	青垣小学校との交流会（5歳児） 生活発表会（1・2歳児）
12月	生活発表会（3・4・5歳児） クリスマス会 しめ縄作り（5歳児）
1月	新春お茶会（4・5歳児） とんど焼き 和太鼓発表会（4・5歳児）
2月	節分豆まき 青垣小学校体験入学（5歳児） 個別懇談会（5歳児全員・0～4歳児希望児）参観日・もぐもぐ相談会（0歳児）
3月	ひな祭り会 お別れ会 お楽しみ遠足（5歳児） 卒園式（5歳児） 修了式（0・1・2・3・4歳児）

7 食育

食育目標

生涯にわたって健康で質の高い生活を送る基本として、食の大切さに気付き「食を営む力」と「食を通じた望ましい食習慣」の育成に向けその基礎を培う。楽しく食べる子どもに成長していくことを期待し、次にかかる子どもの実現をめざす。



第4次食育推進基本計画の5つの重点課題に取り組む

- ①若い世代を中心とした食育の推進・・・離乳食体験・食事のマナー指導
- ②多様な暮らしに対応した食育の推進・・・朝ごはんの推奨
- ③健康寿命の延伸につながる食育の推進・・・だしの旨味で減塩・カミカミメニュー
- ④食の循環や環境を意識した食育の推進・・・栽培活動・クッキング
- ⑤食文化の継承に向けた食育の推進・・・行事食・伝統料理の継承

8 給食

給食目標

安全で安心な給食の提供に努め、子どもが園生活を元気に過ごせるよう、必要な栄養を摂取できる献立をたてる。乳幼児期にたくさんの食材を味わう体験を進める。

(1) 栄養摂取

- ・未満児 平均で462kcalを園で摂取
- ・以上児 平均で573kcalを園で摂取
- ・栄養素別充足率の管理

(2) 衛生管理

- ・HACCP実施

(3) 事故防止

- ・誤嚥防止・・・誤嚥食材の選別と提供の仕方

- ・アレルギ一面談・・医師の診断書に従い行う
- ・離乳食面談・・・未摂取食材の確認・口の発達に合わせた普通食への移行
- ・給食検討会内容・・充足率・アレルギー・離乳食・H A C C P ・食材・課題（提供方法等）

9 安全管理

- ・交通安全教室・・・・・・・・年1回
- ・非常災害時の避難訓練・・・月1回
- ・消防用設備点検・・・・・・・・年2回
- ・防火設備定期検査業務・・・年1回
- ・安全指導（登降園の安全指導及び町内防犯パトロール）

10 職員待遇

（1）職員構成

園長	1名
副園長	1名
主任	2名
副主任	3名
職務分野別リーダー	4名
保育教諭	17名
調理員	3名（専門リーダー・栄養士を含む）
看護師	1名
嘱託医	3名（内科1・歯科1・産業医1）
薬剤師	1名
非常勤（臨時）	若干名
※事務長	1名
※事務員	1名

（2）健康管理

- ・職員健康診断（婦人科検診含む） 年1回
- ・インフルエンザ予防接種 年1回
- ・検便 月1回（調理師のみ 月2回）
※調理師 10月～3月まで 月3回（ノロウィルス検査実施 月1回含む）
- ・メンタルヘルスチェック 年1回

（3）職員会議及び委員会、部会（必要ある時はこの限りではない）

- ・職員会議・・・・・・・・・・・・ 毎月1回
- ・主任会議・・・・・・・・・・・・ 隨時
- ・副主任・職務分野別リーダー会議・・ 隨時
- ・学年別会議・・・・・・・・・・・・ 年4回

- ・幼稚園部会議・・・・・・・・・・・毎月 1 回
- ・保育園部会議・・・・・・・・・・・毎月 1 回
- ・園内教育支援教育委員会・・・・・・・年 6 回
- ・食育・栽培委員会・・・・・・・随時
- ・安全委員会・・・・・・・毎月 1 回
- ・給食検討会・・・・・・・毎月 1 回
- ・労働安全衛生委員会・・・・・・・年 3 回
- ・学校保健安全委員会・・・・・・・年 4 回

(4) 退職・福利厚生

- ・独立行政法人福祉医療機構退職共済制度加入
- ・職員互助会青葉会助成

1.1 特別保育事業

(1) 一時預かり事業

家庭内の子育ての孤立化解消の手助けと、保護者の都合により子育てが困難な場合に一時的に保育支援をおこなう。

(2) 延長保育促進事業

仕事等により保育時間内に送迎に来られない場合に必要に応じて保育支援をおこなう。

(3) 特別支援保育事業

特別な支援を要する子どもが、他児と生活を共にすることにより、その特性を可能な限り伸ばすことができるきめ細かな教育支援をする。インクルーシブ教育システムの充実を図る。

(4) 体調不良児保育事業

教育、保育中に体調不良となった園児への緊急対応をおこない、微熱を出すなど体調不良となった園児で、保護者が迎えに来るまでの間、緊急的な対応をし、福祉の向上を図る。

(5) 子育て支援事業

地域の子育て支援の充実を図り、特に低年齢児を抱える家庭に対し、親子のふれあいによる育児不安の解消及び親としての子育て力の向上を図る。

毎月 19 日を育児の日とし、月 1 回育児相談日を設ける。

1.2 施設管理

(1) 管理業務

- ・害虫防除（委託）・・・・定期点検 年 2 回 点検業務 月 1 回
- ・貯水槽・貯湯槽清掃（委託）・・・・年 1 回

- ・浄化槽清掃（委託）……………年1～2回
- ・浄化槽点検（委託）……………年4回
- ・電気保安管理業務（委託）……………年6回
- ・非常用発電機負荷試験（委託）……………年1回
- ・園舎警備（委託）……………通年
- ・特殊建物建築定期調査（委託）……………3年に1回（令和5年度に実施）
- ・遊具診断（委託）……………年1回
- ・遊具点検……………週1回

(2) 備品関係（備品購入予定）

テント（4台）

(3) 災害対策

- ・備蓄用品の整備
- ・避難確保計画に基づく訓練

13 保護者（家庭）地域にむけて

(1) 教育・保育への協力と理解の促進

- ・保護者や地域と共に実施する避難訓練
- ・育児相談日を月1回設ける（19日）

(2) 参観日・その他の参観日（少人数制の対応をする）

- ・参観日・給食体験会・もぐもぐ相談会を実施する。
- ・認定こども園はどんな所で、どんな教育・保育をしているのか等の理解を保護者や地域の方々に深めてもらう。
- ・地域に開かれた認定こども園をめざし、隨時、希望により自由な参観を今後も実施する。

(3) 絵本の読み聞かせの推進

- ・絵本の貸し出し
- ・ゲストティーチャーによる読み聞かせ

(4) 保護者会

- ・年2回会議を持つ
- ・奉仕作業 年2回

(5) お知らせ通信

- | | |
|----------|-----------------|
| ・園だより | 毎月1回発行（地域版全戸配布） |
| ・クラスだより | 毎月1回発行 |
| ・保健だより | 毎月1回発行 |
| ・給食メニュー表 | 毎月1回発行 |
| ・食育だより | 毎月1回発行 |

- ・にこにこひろばだより 毎月 1 回発行
- ・ホームページ掲載 毎週 1 回更新
- ・青垣福祉会広報誌『WA～和～輪～話』の発行 年 2 回

14 地域社会との連携

- ・地域のイベント参加や 4 地域との交流
- ・児童養護施設との連絡会
- ・高齢者施設とのふれあい交流会
- ・ゲストティーチャー、祖父母、地域の方の力を活用した活動
- ・JA食農事業参加
- ・中学生トライやる事業・ボランティア受け入れ
- ・高校生インターンシップ受け入れ
- ・外部学生受け入れ
- ・地域公共施設利用
(図書館・いきものふれあいの里・丹波少年自然の家・森林動物研究センター・
FOREST DOOR しぐら 丹波布伝承館・グリーンベル青垣 等)
- ・青垣小学校 (ふれあい交流授業・運動会・音楽会見学・5・5 交流
青垣小学校体験入学・出前授業)
- ・氷上西高とのふれ合いクッキング交流・保育交流・ボランティア受け入れ

15 地域関係者・機関と連携した取組み

- ・学校関係者評価委員会 (自己評価・関係者評価・公表)
- ・学校保健安全委員会
- ・苦情処理委員会
- ・学校運営協議会
- ・民生委員・児童委員協議会との懇談会